

あでやかに、おごそかに

12月19日、有馬小学校グラウンド

セミナーヨ全盛時代のクリスマス・再現実した「フェスティビタス・ナタリス」が行われました。昼の部では、県内各地から集結した7つのよさこいグループが、踊りを披露しました。日が沈むと南蛮行列が行われ、宣教師などに扮した市民が、たいまつを手に北有馬町内を練り歩きました。会場内には、北有馬町内のグループが多数出店。特産品の販売が行われたほか、ビーフシチューなどの温かい料理でもてなしました。吐く息が白く揺れる寒空の下、会場は、夜遅くまでクリスマスを楽しむ参加者でにぎわいました。



↑元気！きたありま夢組



南蛮行列には120人が参加！→

威風堂々。年頭を飾る

1月5日 南有馬小学校グラウンド



市消防団、消防署および消防関係機関が一堂に会し、南島原市消防出初式が挙行されました。式典では、服装点検や機械器具点検のほか、多年にわたる功績をたたえる各表彰が行われ、250人の団員、元団員が表彰を受けました。また、消防団分列行進には、消防団に加え、北有馬、南有馬町内の保育所、保育園、幼稚園の幼年消防クラブと有家少年防火クラブが参加。観閲場所となった原城オアシスセンター前では白木野小学校の先踊りが行われるなど、賑やかなパレードとなりました。



その後は、会場を南有馬漁港に移し、石川昭三団長の指揮のもと、消防ポンプによる一斉放水訓練を行い、防火・防災決意を新たにしました。



東国原英夫講演会

12月26日 南有馬体育館



南島原市青年団連絡協議会が、同協議会の設立記念行事として、「東国原英夫講演会」を行いました。「一人ひとりの力が未来をひろく」と題した講演では、東国原崎県知事が政治を志したいきさつや、お笑い芸人時代、知事就任後の失敗談などをユーモアを交えて講演。笑いの絶えない講演会となりました。

痛そう…でも、だいじょうぶ

12月10日、1月14日 深江ふるさと伝承館ほか

昨年からは猛威をふるっている「新型インフルエンザ」。小学校3年生までの幼児、児童を対象に、予防接種が行われました。これは、南高医師会が行ったもので、深江ふるさと伝承館、南有馬武道館の2カ所に分かれ、641人が接種を受けました。



この日に接種できなかつた人は、医療機関で個別接種を行っていますので、かかりつけの医療機関にご相談ください。

受賞おめでとうございます

第42回全国優良読書グループ表彰



このほど、全国で活動している読書グループ約8,500の中から、有家町「おはなし会 ちゅうりっぷ」が、日ごろの読書会・読み聞かせなどの活動を認められ、第42回全国優良読書グループ表彰を受賞しました。これからは、子どもたちに、すてきな感動を届けてください。



師走の加津佐路を激走

12月13日 加津佐グラウンド周辺

第3回、南島原市口加津佐競走大会が行われ、参加した64チームは、白い息を弾ませながら、懸命にタスキをつなぎました。成績は次のとおりです。

- チーム成績
 - 小学生男子 東小陸上A
 - 小学生女子 野田クラブ
 - 一般男子 西有家
 - 中高校生男子 有明中陸上部
 - 中高校生女子 チームじゅんぐり
 - 中学生以上オープン 大村城南高校A

- 区間賞
 - 小学生男子 1区:粟戸宏(山口ビックパン) / 2区:小倉孝太(東小陸上A) / 3区:南原圭吾(東小陸上A) / 4区:渡部聖哉(津波見小) / 5区:加納学道(口之津SBC) / 6区:細波貴(ホークスA)
 - 小学生女子 1区:門畑美奈(野田クラブ) / 2区:福田真由(野田クラブ) / 3区:門畑知佳(野田クラブ) / 4区:林田葉(東小陸上BLUE) / 5区:栗田美和(野田クラブ) / 6区:太田麻友(ウルトラガールズ)
 - 男子 1区:定方俊樹(チーム定方) / 2区:前田有亮(有明中陸上部) / 3区:松本研志(西有家) / 4区:内田光(大村城南高校B) / 5区:横山和希(大村高校) / 6区:松尾良一(大村城南高校A)
 - 女子 1区:中村仁美(北中陸上部女子) / 2区:植木那菜(チームじゅんぐり) / 3区:草野琴美(チームじゅんぐり) / 4区:林田奏(チームじゅんぐり) / 5区:寺田晴菜(チームじゅんぐり) / 6区:松尾滯菜(北串じゃがちゃん)

100歳おめでとうございます

～いつまでもお元気で～



永橋三郎さん(有家町) 明治42年12月28日生まれ

市長と語った「ふるさとの未来」

1月5日 南有馬庁舎



↑写真左上から 楠田剛士さん、寺田有吾さん、七條貴大さん、酒井剛史さん、平湯広貴さん 下段 森塚博敏さん、松島市長、馬場知美さん

「大学生と『みなみしまばら』の未来を語る会」が行われ、7人の大学生が、市長とふるさとの未来を語りました。会では、まず市長が南島原市のイメージを質問。一様に「南島原市の認知度が低い」ことをあげました。寺田さんは「農水産物のブランド化から知名度を上げては」と提案。活発に意見が交わされました。このほか、島鉄南線の廃線跡地や有馬商業跡地の有効利用、大学の提携や動画サイトの活用など活発な意見が寄せられました。南島原で育ち、県外で今を暮らすからこそ感じる大学生の素直な想いに、市長は深くうなずいていました。